

[製品情報](#) >> [インタフェースモジュール](#) >> [CANインタフェース](#) >> CPZ-485202P

CPZ-485202P CAN 64メッセージFIFO搭載 チャンネル間絶縁低速2CH

概要	仕様	本製品に関するFAQ
型式	CPZ-485202P	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>Windows 7</p> <p>Windows 2008</p> <p>Windows Vista</p> <p>Windows XP</p> <p>Windows Embedded Standard 2009</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>Windows XPe</p> <p>Windows 2003</p> <p>Windows 2000</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>Linux</p> <p>RT Linux</p> <p>SH Linux</p> <p>SHRT Linux</p> <p>Linux x64</p> <p>DOS</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> ソフトウェア ドキュメント オプション </div>
JANコード	4957451310171	
価格	オープンブライズ ご提供参考価格：¥54,000	
発売	発売中	
標準納期	ご注文受領後2週間以内 ※数量が9以上の場合はお問い合わせ下さい	
無償保証期間	2年 >> 製品使用登録で保証期間が最大2年延長！	
無料貸出サービス	対象外	
カスタマイズ	カスタマイズご相談ください！	
製品構成		
低速CAN 2チャンネル	低速CAN通信速度 40kbps～125kbps	最大通信距離 40m
64メッセージ 送受信FIFO搭載	データ転送方式 I/O	チャンネル間絶縁

概要

CPZ-485202Pは、3.3V信号環境 3Uサイズ CompactPCI CPZシリーズ低速2チャンネルのチャンネル間絶縁CANインタフェース製品です。CANコントローラにSJA1000を使用しています。

低速CANチャンネルは、CANトランシーバにTJA1054Aを使用しており、Fault-tolerant CANに対応した通信を行うことができます。最高通信速度は125kbpsです。

チャンネルごとにCANコントローラを搭載しており、別々の通信速度設定が可能です。

ディップスイッチにより、接続する終端抵抗を選択できます。

送信用に大容量FIFOを実装しているため、漏れのない高速なメッセージ送受信を容易に行うことができます。

CANバステスト用の機能を搭載しているため、簡易的なCANバスの動作確認/動作解析を行うことができます。

特長

- CANプロトコルに対応
 - 低速CANチャンネルは、CAN2.0Bプロトコル、Fault-tolerant CANに対応し、CANコントローラにSJA1000、CANトランシーバにTJA1054Aを使用しており、最高通信速度は125kbpsです。
- チャンネルごとにCANコントローラを使用
 - チャンネルごとにCANコントローラを実装しているため、異なるビットタイミングを設定することが可能です。それぞれのチャンネルにて独立した通信を行うことができます。
 - システムクロックには24MHzを使用しています。
- 高性能CANコントローラ採用
 - CANコントローラSJA1000を採用することにより、2つの受信許可フィルタ、エラーコードキャプチャ、エラー件数のカウント等、様々な機能を実現しています。
- メッセージ送信間隔を設定可能
 - 前回のメッセージ送信完了から今回のメッセージ送信開始までの時間を設定することができます。
 - この機能を使用することにより、応答の遅いデバイスと通信する際に待ち時間等の処理を省くことができます。
- 大容量FIFOを使用した通信可能
 - 各チャンネルの送信用、送信用にそれぞれ64個のメッセージを保持することができます。CPUの負荷が軽減され、漏れのない高速なデータ送受信を容易に行うことが可能です。
- チャンネル間絶縁
 - 各チャンネルの制御回路とCompactPCIバスの制御回路間を絶縁しています。
 - このため、サージ等の外部からのノイズによるコンピュータ本体やその周辺機器への被害をなくすることができます。
 - また、ジャンプスイッチの設定により、各チャンネルの制御回路間の絶縁も行うことができ、チャンネルごとに異なる基準電位を持つ信号を送受信できます。
- 繰り返しメッセージ送信可能
 - 通常のメッセージの送信の他に、繰り返しメッセージを送信することができます。この機能を使用することにより、設定した繰り返しメッセージ(1メッセージ)を一定周期で送信することができ、簡易的なCANバスの動作確認を行うことができます。
- CANバスのモニタ可能
 - CANバスに送信されたメッセージやエラーステータスをモニタできます。また、それらのタイミングを10μs単位で確認することができます。
 - また、応答メッセージを出力しないように設定できるため、ネットワークに対して負荷をかけることなくモニタができます。